

健康と良い友だち

For your Health & Vigor

発行所・健康と良い友だち社
〒141-0032 東京都品川区大崎4-3-1
TEL: 03-5437-1055
FAX: 03-5437-1056
URL: http://www.k-yoito.com.co.jp/
編集長 市川智彰・発行人 市川裕子
2024年(令和6年)11月1日発行
第347号/毎月発行

定価 250円(税込)

2024年

11月号

「健康と良い友だち」は
定期購読できます。
●定期購読料
個人: 1部/1年間 3,000円(税込)
団体: 5部/1年間 10,500円(税込)
10部/1年間 15,750円(税込)
ご希望の月から1年間、毎月お届けします。お電話・FAX・ホームページよりお申込みください。

情報誌に掲載されました!! ふくろうクリニック自由が丘 野手 副院長

The Doctor of Our Town

わが街
ザ・ドクター

1面より続く

高度な専門知識を活かし 患者さんをサポート

野手医師は、脳血管疾患や頭部外傷、脳腫瘍などを診る「脳神経外科」と、椎間板ヘルニアや脊髄神経根症など、背骨(脊椎)と神経(脊髄)に関連する疾患を診る「脊椎脊髄外科」が専門だ。

「脳神経外科」とは、脊髄脊髄外科という、治療が難しい重症の病気だけを診療すると誤解されやすく、数回が高いと言われることもあり、高度な治療を要する病気だけでなく、頭痛やめまい、首や背中、腰の痛み、腕や足のしびれといった日常的な症状も診療しています。

たとえば、頭痛には片頭痛や緊張型頭痛、群発頭痛などの種類があり、原因も様々です。頭のどこが痛いのか、脈打つようにズキンズキンと痛むのか、横になると痛むのか、日中に痛むのか、夕方から夜にかけて痛むのか、頭痛のほかに吐き気などの症状はあるのかなど、できるだけ正確に教えていただくと、正しい診断に役立ちます。

とくに近年、増加傾向なのはストレートネックによる頭痛だ。ストレートネックとは、本来はS字にカーブしている首の骨(頸椎)が真つすぐになった状態を指す。スマートフォンやタブレットなどの画面を見ると、誰でも



医療法人社団創福会
ふくろうクリニック自由が丘 副院長
野手 康宏

要介護につながる病気の 予防・治療が専門の診療所

厚生労働省の最新の調査では、介護が必要になる原因1位は認知症、2位は脳血管疾患(脳卒中)、3位は高齢による衰弱、4位が骨折・転倒、5位が関節疾患(国民生活基礎調査2022年)。反対に言えば、これらの疾患の予防・改善ができれば、イキイキと自分らしい生活を送ることができるようだが、1〜5位の疾患すべてを治療対象にしているのが、ふくろうクリ

ニック自由が丘である。

「脳、首や背骨、神経、筋肉、関節に関して気になる症状があっても、年をとったせいだからと放置されがちのようですが、健康寿命(健康上の問題がなく自立して過ごせる期間)を延ばすためには、病気の早期発見・早期治療に尽きます。自己判断せず、迷ったら受診してほしい」と野手医師は強く語る。

各診療科の専門医、リハビリ専門職、管理栄養士などの多職種が連携してトータルに診療の安心だ。

大丈夫です。

当院のMRIは大学病院並みの検査機器で、これまでわかりにくかった小さな病変がより鮮明に描出されるので病気の早期発見と早期治療に役立っています。実際、当院でMRIを撮ったことで痛みの原因がはつきりした、きちんと診断がついたという方が多くいらっしゃいます。

脳ドックだけでなく、物忘れドック、スポーツ脳ドック、運動脳ドック、経済脳ドック、首ドック、腰ドック、膝ドック、肩ドック、肝臓ドック、下肢血管・頸動脈ドック、前立腺ドック、子宮卵巣ドックなど、気軽に受けられる多彩な人間ドックと手厚いサポートは心強い限りだ。



医療法人社団創福会
ふくろうクリニック自由が丘
副院長 野手 康宏
(ので、やすひろ)
東邦大学医学部医学科 卒業後、東邦大学医学部医学科 脳神経外科講座(大森)に入局。東邦大学医療センター佐倉病院 脳神経外科助教、新百合ヶ丘総合病院 脊椎脊髄・末梢神経外科医長を経て、ふくろうクリニック自由が丘 副院長。日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脊髄外科学会認定医。

高性能のMRI検査で 病気を未然に防ぐ

頭痛で悩んでいる人の中には専門医を受診せず、市販薬を飲み続けている人も少なくないようだが、突発的に激し

い頭痛が起こったり、頭痛のほかに麻痺や痺、言語障害などが起こったりする場合は、くも膜下出血、脳腫瘍、脳動脈解離といった生命の危険をともなう病気が隠れていることもあるので注意が必要だ。

「とくに高齢者は、転んだり頭を強打した1〜2ヵ月後に、硬膜下血腫を起こす可能性があります。高齢者の場合、頭の中に血腫ができても、症状が出にくい傾向があり、急に麻痺が出てくるなど症状の異変が出てから進行が早いのが特徴です。

最近ポイントとして、物が多い、体の動きが鈍い、物覚えが悪くなったという場合、周囲は認知症ではないかと思いが、そのまま放置しているケースも少なくありません。頭部に外傷を負ったことがあれば、今後、硬膜下血腫になる可能性もあるので、気のせいとか、年をとったせいなどと思わずに検査を受けてください、と伝えています。

一方、中高年が注意すべきは動脈硬化にともなう虚血性脳血管障害だ。脳の血管が詰まる脳梗塞や一過性脳虚血発作、脳の血管が破れて出血する脳出血の多くは、突然、前触れなく起こる。

「そこで重要なのが、現在の脳の状態をリアルタイムに知ること、ある程度の年齢になったら脳ドックを受けてほしいと思います。脳動脈瘤が見つかるのが怖いという方もいらっしゃると思いますが、現在では体に負担の少ない新しい治療法もありますので、怖がらなくても

●医療法人社団創福会
ふくろうクリニック自由が丘
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢6-20-23
フォーラム自由が丘 1F-A・2F-A
TEL: 03-3701-3351 FAX: 03-3705-8100
東急東横線「自由が丘」駅より徒歩7分
東急大井町線「九品仏」駅より徒歩7分
東急目黒線「奥沢」駅より徒歩7分
東急バス「奥沢6丁目」より徒歩1分
●診療科
脳神経外科、整形外科、脳神経内科
呼吸器内科、疼痛緩和内科、老年内科
リハビリテーション科、精神科
●診療時間
月曜～土曜
午前 9:00～12:00(受付: 9:00～11:30)
午後 14:00～18:00(受付: 14:00～17:00)
※診療科目により診療時間が異なります。
●休診日: 日曜・祝日